

年 号	町 の で き ご と	参 考 事 項
昭和25年 (1950)	<ul style="list-style-type: none"> ・只見・明和中学校が新築される。 ・公民館が各村につくられる。 ・伊北村役場を改築する。 ・南会西部高等学校只見・朝日分校が開設される。 ・蒲生で火事があり15世帯が焼ける。 	
昭和26年 (1951)	<ul style="list-style-type: none"> ・南会西部高等学校明和分校が開設される。 	
昭和27年 (1952)	<ul style="list-style-type: none"> ・伊北村を只見村と改める。 	
昭和28年 (1953)	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ放送が始まる。 ・田子倉発電所の着工式が行われる。 ・耕運機が使われはじめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ダムを作るために田子倉集落約50軒が水の底に沈む。村には、映画館・食堂・店がふえ、ダム景気といわれる。
昭和29年 (1954)	<ul style="list-style-type: none"> ・明和村役場庁舎ができる。 ・朝日小学校が黒谷字館から現在地に移転する。 	
昭和30年 (1955)	<ul style="list-style-type: none"> ・只見・明和村が合併して只見村ができる。 ・只見に簡易水道ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間の朝日村が合併できなかったため、飛び地合併となる。 ・この年の人口が、13,106人と最高になる。 ・梁取成法寺の木造聖観音座像が県重要文化財に指定される。
昭和32年 (1957)	<ul style="list-style-type: none"> ・田子倉専用鉄道が開通する。 ・只見中学校の体育館が完成する。 ・このころから除草剤が使われはじめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本が国際連合に加入する。(31) ・南極に昭和基地ができる。
昭和33年 (1958)	<ul style="list-style-type: none"> ・大水害がおきる。(台風21号・22号) ・ミルク給食が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソ連が初めて人工衛星を打ち上げる。
昭和34年 (1959)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝日村が合併して只見町になる。 ・朝日地区で水道工事が始まる。 ・朝日公民館・診療所が新築される。 ・滝発電所工事が着工される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・町では、教育施設の充実、農業の発展、災害の復旧、道路や橋の建設などに力を入れる。 ・滝ダム建設で、塩沢・十島・寄岩の民家92軒が水没する。
昭和35年 (1960)	<ul style="list-style-type: none"> ・田子倉発電所が完成する。 ・町営住宅の建築が始まる。 ・NHK ラジオ中継所ができる。 ・只見町役場庁舎が完成する。 ・只見町商工会が設立される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NHK がカラーテレビの放送をはじめる。 ・このころから、そば・だいず・さつまいもにかわって、いんげん・スイートコーン・ホップなどすぐにお金にかえられる作物の栽培をする農家がふえてくる。